

# Kansai Economic Insight Monthly

2018/3/23

Vol.59 February/March

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第 4 週を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔(APIR 調査役)・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰(各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	10
主要月次統計	13
Release Calendar	14

## 要旨

### -景気は足下、先行きともに横ばいから改善傾向に\*-

- ✓ 1月の鉱工業生産指数は前月比大幅低下し、4カ月ぶりのマイナス。また、10-12月平均比でも大幅下落した。なお、近畿経産局は生産の基調判断を前月から据え置いた。
- ✓ 2月の貿易収支は2カ月ぶりの黒字となったが、黒字幅は前年同月と比べ縮小した。輸出額は増加した財と減少した財の全体で横ばいだが、輸入額が中国産衣料品を中心に伸びたため。
- ✓ 2月の景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月連続で前月比悪化。春節によるインバウンド需要や冬物商材の販売は好調だったが、天候不順の影響で景況感は悪化した。
- ✓ 12月の関西2府4県の現金給与総額は10カ月連続の前年比増加。2017年通年では関西の改善幅が全国を上回った。実質賃金総額は5カ月連続で上昇したものの、物価上昇の影響で伸びは減速。
- ✓ 1月の大型小売店販売額は3カ月連続の前年比プラス。百貨店は高額品が国内外向けに好調、スーパーは野菜価格の高騰もあり、いずれも販売額が伸びた。
- ✓ 1月の新設住宅着工戸数は5カ月連続の前年比減少。利用関係別にみると、持家、貸家、分譲のいずれも減少が続いており、低迷している。
- ✓ 1月の有効求人倍率は5カ月連続の前月比上昇。完全失業率は3カ月ぶりに改善しており、雇用環境は引き続き堅調である。
- ✓ 2月の公共工事請負金額は5カ月ぶりの前年比減少。季節調整値で見ても、3カ月連続で減少している。
- ✓ 1月の建設工事出来高は2カ月連続の前年比増加。関西ではオリンピック・パラリンピックの影響は見られず、伸びはほぼ横ばいとどまった。
- ✓ 2月の関空への訪日外客数は12カ月連続で前年比増加。また、11カ月連続で2桁増が続いており好調である。
- ✓ 中国2月の製造業の購買担当者景況指数は19カ月連続で景気分岐点を上回っているが、直近3カ月は減速感がみられる。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。関西全体のCI、試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

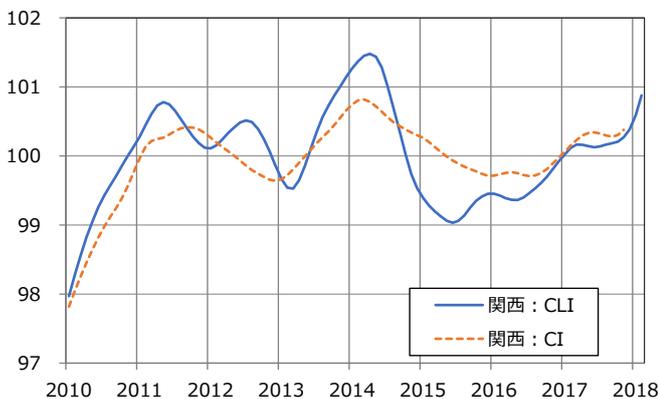
	2017年												2018年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
生産	↑	→	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓		
貿易	↑	→	→	→	→	→	↑	↑	→	↑	→	↑	↓	
センチメント	→	↓	→	↑	↑	→	↓	→	↑	↑	↑	↓	↓	
消費	↓	↓	→	→	→	→	→	↑	→	↑	→	→		
住宅	→	→	↓	→	↓	→	→	→	→	→	↓	↓		
雇用	↑	→	↑	↑	↑	↑	→	↑	↑	↑	↑	↑		
公共工事	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	→	↑	↓	
中国	↑	↑	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	

(\*トレンドの判断基準)

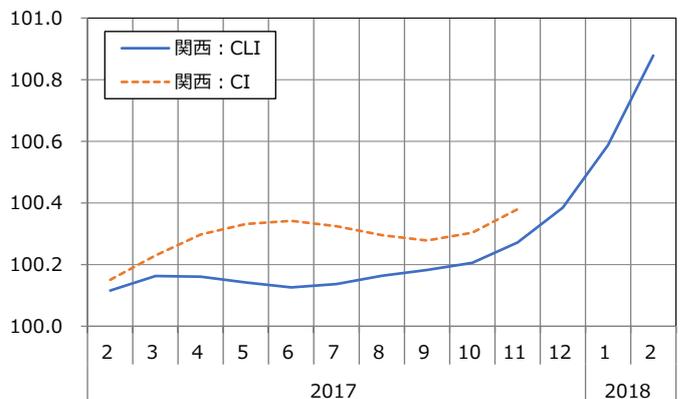
- ・ **生産**: 近畿経済産業局『近畿地域広工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **消費**: 近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ **公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2010年1月~2018年2月)



直近1年間の CI・CLI の推移(2017年2月~2018年2月)



【釧工業生産動向】

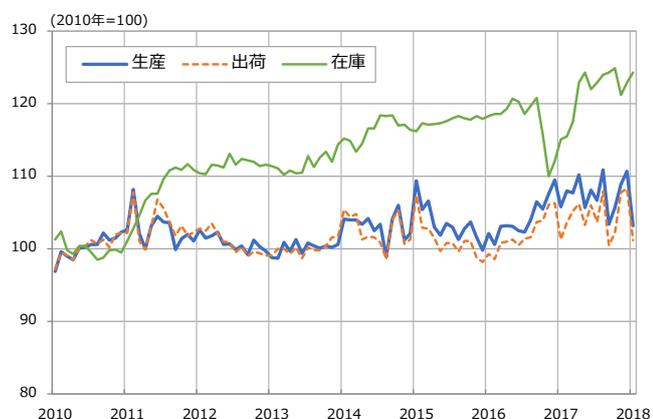
(1) 関西の生産動向

関西 2018 年 1 月の釧工業生産動向(速報値:季節調整済、2010 年=100)によれば、生産は 103.2 で、前月比-6.8%と大幅に低下し、4 カ月ぶりのマイナス。出荷は 101.2 で同-6.6%と 4 カ月ぶりの低下。在庫は 124.3 で同+1.1%と 2 カ月連続で上昇した。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2015 年=100)を見ると、1 月(確報値)は 116.4 で、同-0.3%と 2 カ月連続で下落した。ちなみに、2 月(速報値)は 111.4 で、同-4.3%と下落が見込まれている。

業種別に生産指数をみると、金属製品(前月比-23.3%、3 カ月ぶり)、化学(除、医薬品)(同-10.1%、2 カ月ぶり)、はん用・生産用・業務用機械(同-5.3%、2 カ月連続)、電子部品・デバイス(同-12.4%、4 カ月ぶり)等が減産となった。一方、食料品・たばこ(同+2.3%、3 カ月連続)、電気機械(同+1.4%、3 カ月ぶり)、窯業・土石製品(同+0.8%、2 カ月連続)、プラスチック製品(同+0.4%、2 カ月連続)が増産となった。

結果、1 月(生産)実績は 10-12 月平均比-4.8%大幅下落した(10-12 月期は前期比+1.3%)。近畿経済産業局は同月の基調判断を「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と前月から据え置いた。

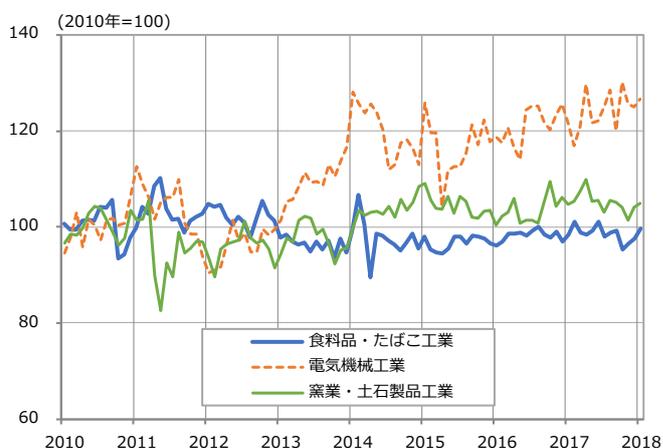
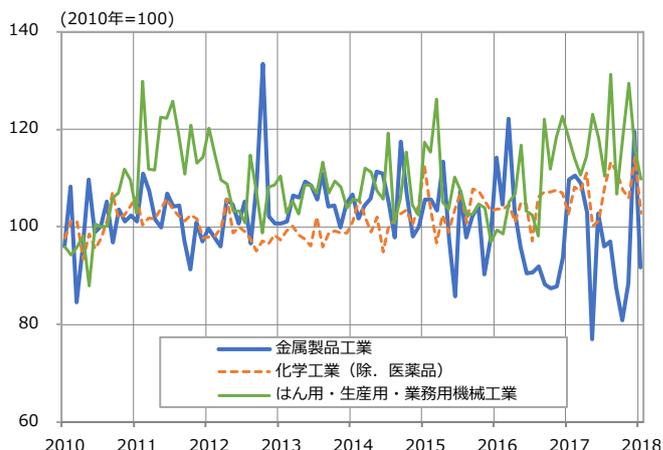
関西の釧工業生産動向の推移(2010 年 1 月~2018 年 1 月)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「釧工業生産動向」

関西の業種別生産指数の推移(2010 年 1 月~2018 年 1 月)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「釧工業生産動向」

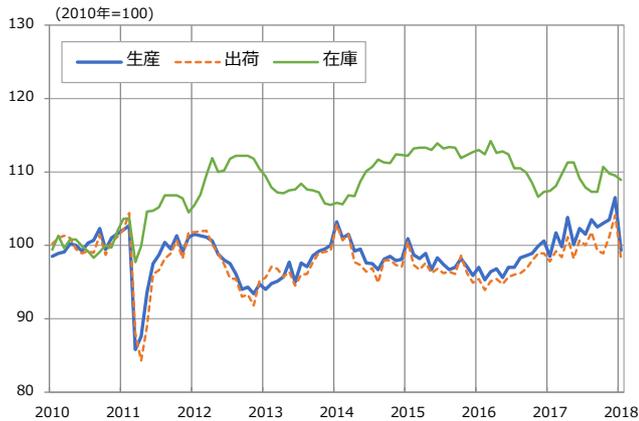
(2) 全国の生産動向

全国 1 月の釧工業指数(確報値:季節調整済、2010 年=100)を見ると、生産は 99.3 となり前月比-6.8%と 4 カ月ぶりの低下。出荷は 98.2 で同-5.7%と 3 カ月ぶりの低下。在庫は 108.9 となり、同-0.5%と 3 カ月連続の低下となった。

業種別にみると、輸送機械(前月比-14.3%)、はん用・生産用・業務用機械(同-7.4%)、電子部品・デバイス(同-6.3%)等をはじめとして、すべての業種で減産となった。

製造工業生産予測調査によると、2 月は前月比+9.0%と増産、3 月は同-2.7%と減産が予測される。予測が実現すれば、1-3 月期の生産は前期比-2.8%となり、前期(+1.8%)より大幅に減産となる。

全国の鉱工業指数の推移(2010年1月~2018年1月)



(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

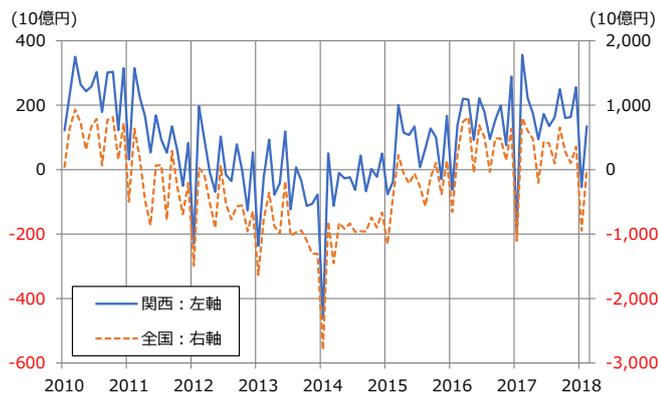
【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西 2 月の貿易収支は +1,342 億円と 2 カ月ぶりの黒字となった。しかし、黒字幅は前年同月(+3,561 億円)と比べて-62.3%大幅縮小した。輸出額が全体でほぼ横ばいであるのに対し、輸入額が増加したため。

また、全国の貿易収支(速報値)は、34 億円と 2 カ月ぶりの黒字となった。しかし、黒字幅は前年同月(+8,045 億円)と比べて-99.6%大幅縮小した。

関西・全国の貿易収支の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

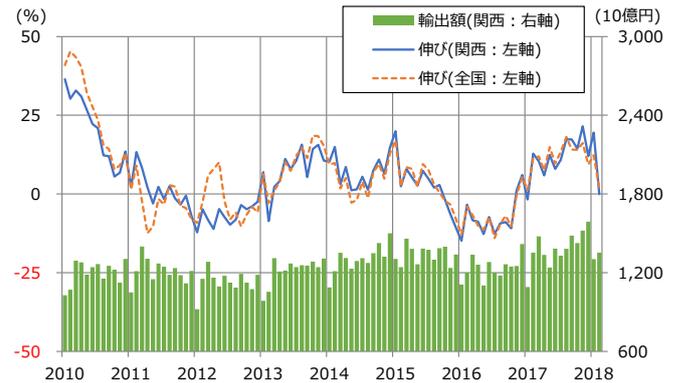
(2) 輸出

関西 2 月の輸出額(速報値)は 1 兆 3,533 億円で前年同月比-0.0%と 13 カ月ぶりの低下。財別に見れば、音響・映像

機器部品、重電機器等が減少した。主に中国向けに、テレビ部品や発電機部品が減少したが、米国向けのゲームソフトや中国向けのメモリーが増加したため、輸出は横ばいとなった。

全国 2 月の輸出額(速報値)は 6 兆 4,630 億円で、前年同月比+1.8%と 15 カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、航空機器、金属加工機械等が増加した。

関西・全国の輸出の推移(2010年1月~2018年2月)



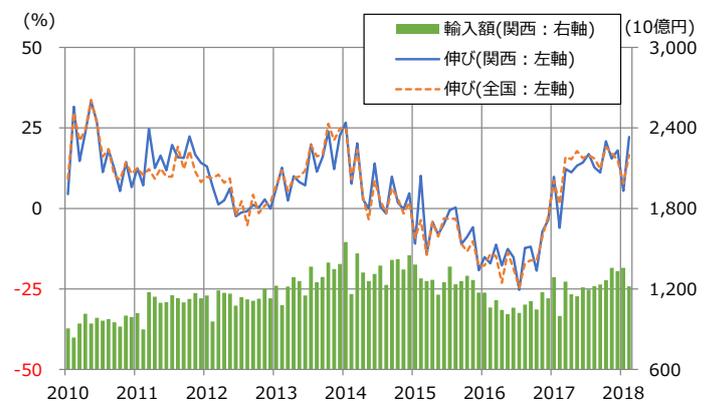
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西 2 月の輸入額(速報値)は 1 兆 2,191 円、伸びは前年同月比+22.2%と急増(前月同+5.5%)し、12 カ月連続の増加。財別に見れば、衣類及び同附属品、医薬品等が増加した。

全国 2 月の輸入額(速報値)は 6 兆 4,596 億円で、前年同月比+16.5%と 14 カ月連続の増加。財別に見れば、衣類・同附属品、液化天然ガス、石油製品等が増加した。

関西・全国の輸入の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

#### (4) 関西の地域別貿易

関西2月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)の貿易収支は+2,014億円と13カ月連続の黒字だが、黒字幅は前年同月比-49.7%縮小した。輸出(8,830億円)は13カ月ぶりの減少(前年同月比-4.0%)。財別に見れば、音響・映像機器部品、重電機器等が減少した。輸入(6,816億円)は12カ月連続の増加(同+31.2%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、天然ガス及び製造ガス等が増加した。

うち、対中貿易収支は-804億円と12カ月連続の赤字となった(前年同月差-1,523億円)。輸出(3,022億円)は16カ月ぶりの減少(前年同月比-10.4%)。財別に見ると、音響・映像機器部品、科学光学機器等が減少した。輸入(3,826億円)は2カ月ぶりの増加(同+44.1%)。財別に見ると、衣類及び同附属品、音響・映像機器(含部品)等が増加した。

対米貿易収支は+807億円の黒字となったが、黒字幅は7カ月ぶりに前年比縮小(-10.3%)。輸出(1,900億円)は10カ月連続の増加(同+0.7%)。財別に見れば、遊戯用具、鉱物性燃料等が増加した。輸入(1,093億円)は15カ月連続の増加(同+10.9%)。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油等が増加した。

対EU貿易収支は+72億円で2カ月ぶりの黒字となったが、黒字幅は前年比縮小(-73.6%)。輸出(1,586億円)は10カ月連続の増加(同+11.9%)。財別に見れば、二輪自動車、非鉄金属等が増加した。輸入(1,515億円)は12カ月連続の増加(同+32.1%)。財別に見れば、たばこ、医薬品等が増加した。

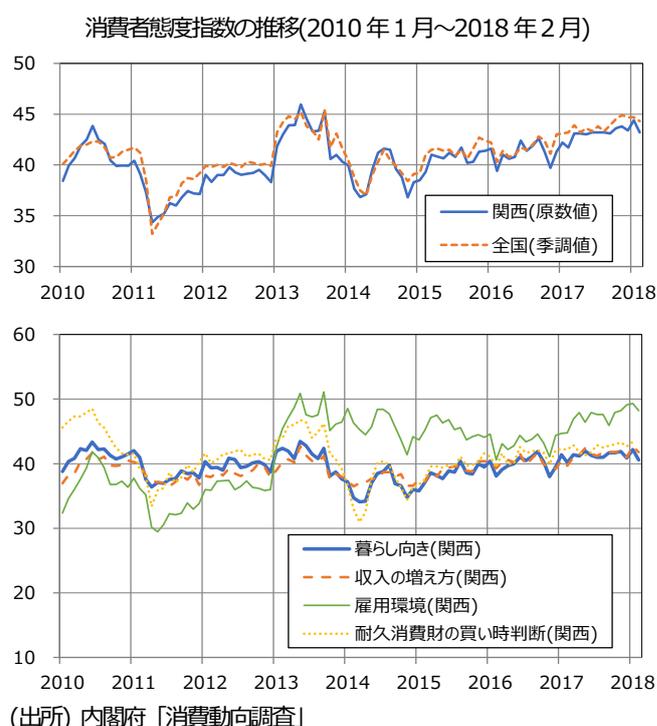
#### 【消費者センチメント】

##### (1) 消費者態度指数の動向

関西2月の消費者態度指数(原数値)は43.2と前月比-1.2ポイント低下し、2カ月ぶりに悪化した。また、同指数構成4項目全てが前月から悪化した。「暮らし向き」は同-1.6ポイント(2カ月ぶり)、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.2ポイント(2カ月ぶり)、「雇用環境」は同-1.1ポイント(5カ

月ぶり)、「収入の増え方」は同-0.9ポイント(2カ月ぶり)といずれも悪化した。

全国(季節調整値)は44.3と前月比-0.4ポイント低下し、2カ月ぶりの悪化となった。同指数構成項目を見ると、「収入の増え方」が同+0.3ポイント(2カ月ぶり)と改善した一方で、「雇用環境」が同-1.0ポイント(2カ月ぶり)、「耐久消費財の買い時判断」が同-0.5ポイント(3カ月連続)、「暮らし向き」が同-0.4ポイント(3カ月連続)、それぞれ下落した。葉物野菜やガソリンの値上がりに加え、株価急落も重なったことで消費者心理が悪化したとみられる。内閣府は基調判断を「持ち直しのテンポが緩やかになっている」から「足踏みが見られる」に判断を2カ月連続で下方修正した。



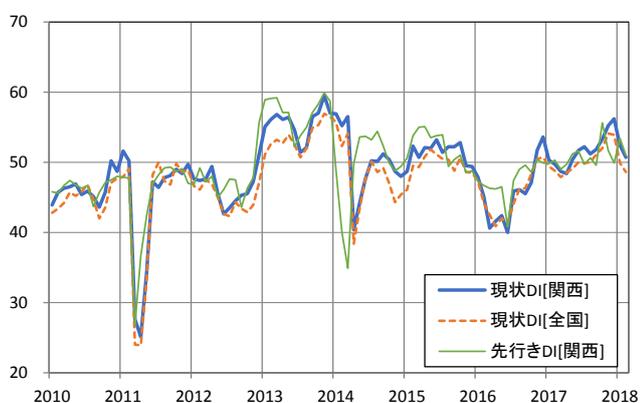
##### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西2月の景気ウォッチャー現状判断DI(季節調整値)は50.7と前月比-1.7ポイント低下し、2カ月連続の悪化となったが、景況感の良し悪しの分かれ目となる50は10カ月連続で上回った。関西では春節によりインバウンド消費が引き続き堅調であることに加え、例年よりも寒い日が続いたことで冬物商材の売れ行きも好調だった。しかし、厳しい寒さ

による外出の手控えや、生鮮野菜の高騰といった悪影響もあり、景況感が悪化したとみられる。また、全国の同指数は48.6と同-1.3ポイント低下し、3カ月連続で悪化した。また、2カ月連続で50を下回った。

一方、先行き判断DI(季節調整値)は、関西では51.0と前月比-2.4ポイント低下し、2カ月ぶりの悪化。春節以降も引き続きインバウンド消費が好調に推移するとみられるものの、円高の進行や緊迫する国際政治状況の懸念などから、先行き見通しは悪化した。全国は同-1.0ポイント下落し51.4となり、4カ月連続で悪化した。

景気ウォッチャー調査の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

## 【所得・個人消費・住宅】

### (1) 現金給与総額

関西2府4県の12月の現金給与総額(APIR推計)は57万1,512円で前年同月比+1.7%となり、10カ月連続の増加。府県別では、奈良県が同+7.6%(13カ月連続)、京都府が同+3.2%(6カ月連続)、大阪府が同+1.8%(7カ月連続)、兵庫県が同+1.5%(5カ月連続)、滋賀県は同+0.2%(6カ月ぶり)とそれぞれ増加した。一方、和歌山県は同-6.2%(6カ月ぶり)と減少した。また、12月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同+1.9%増加し、8カ月連続の改善であった。

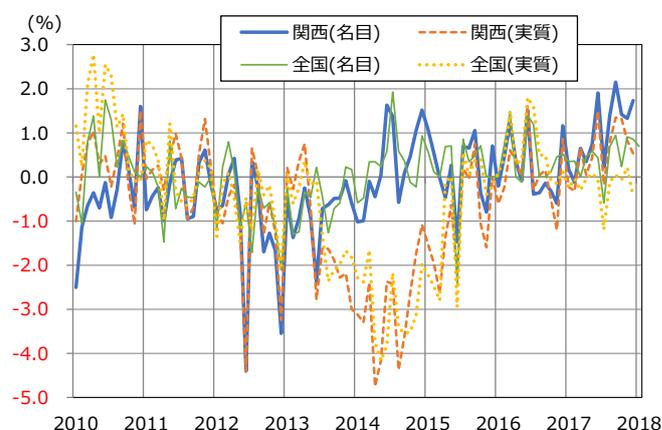
結果、2017年通年では、関西2府4県の現金給与総額は31万2,455円で前年比+1.1%と4年連続の増加。「関

西コア」賃金指数では、同+1.0%とこちらも4年連続の増加であった。全国の2017年の現金給与総額の伸び率が同+0.4%だったことから、同年の関西の所得環境は全国を上回る改善がみられたといえよう。

関西2府4県の現金給与総額から物価上昇分(持家の帰属家賃を除く総合)を除いた実質現金給与総額(実質賃金)は前年同月比+0.5%と5カ月連続で上昇したものの、生鮮野菜やガソリン価格の上昇から、伸びは前月(同+0.8%)から減速した。

全国1月の現金給与総額(速報値)をみると、前年同月比+0.7%増加し、6カ月連続の改善。内訳をみると、所定内給与は前年同月比+0.2%と10カ月連続の増加。所定外給与は同横ばい。特別給与は同+9.3%と6カ月連続の増加であった。また、実質現金給与総額(実質賃金)は、物価上昇の影響から同-0.9%と2カ月連続で減少した。

現金給与総額の推移(2010年1月~2018年1月)



(注)関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。  
(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」、総務省「消費者物価指数」より作成

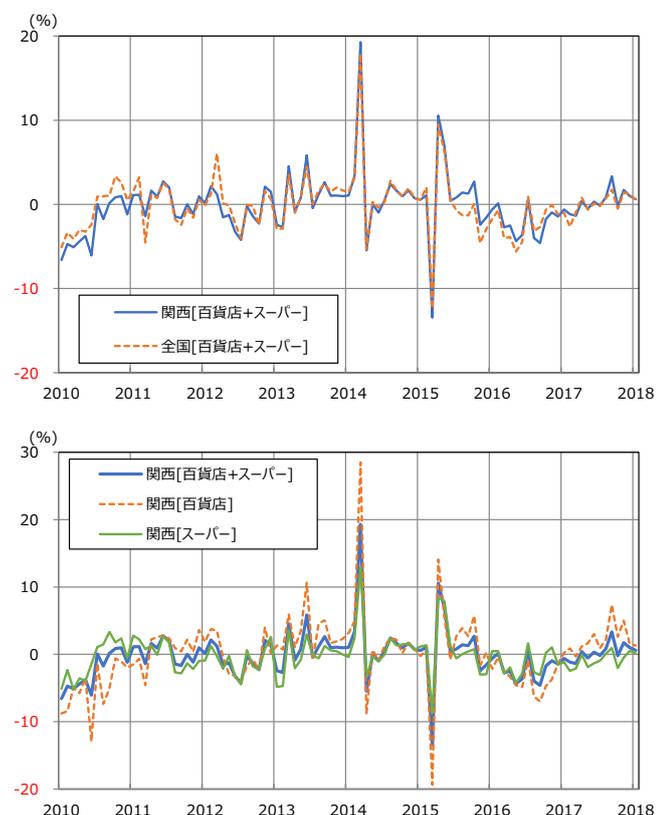
### (2) 大型小売店販売額

関西2018年1月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は3,329億円となり、前年同月比+0.6%と3カ月連続のプラス。うち、百貨店は同+1.3%と、10カ月連続のプラス。化粧品や宝飾品等の高額品が、国内、インバウンド向けともに依然好調である。なお、関西の百

貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、1月は前年同月比+60.6%(前月+73.8%)と15カ月連続の増加。また、スーパーは同+0.1%と2カ月連続のプラス。引き続き野菜価格の高騰が、農産品単価を押し上げているため。

全国1月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆6,828億円、前年同月比+0.5%と3カ月連続のプラスであった。うち、百貨店は同-1.4%と2カ月連続のマイナス。また、スーパーは同+1.5%と3カ月連続のプラスとなった。小売業販売額(季節調整済指数、後方3カ月移動平均)は前月比+0.3%と3カ月連続で上昇した。経済産業省は基調判断を「緩やかに持ち直している」と前月から据え置いた。

大型小売店販売額の推移(2010年1月~2018年1月)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

### (3) 新設住宅着工の動向

関西1月の新設住宅着工戸数は9,196戸と前年同月比-19.4%と大幅減少した。5カ月連続のマイナスで、減少幅は前月から拡大(前月同-7.7%)。

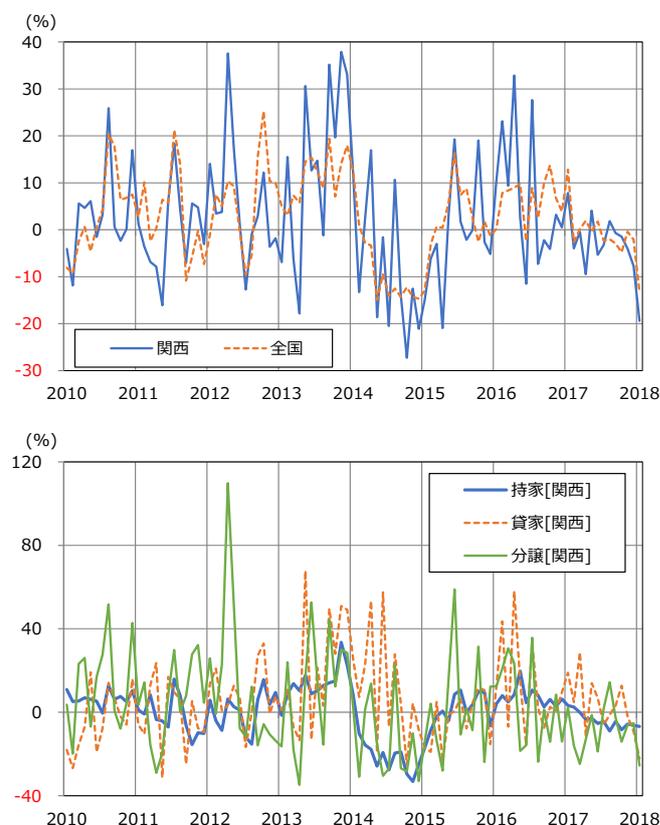
関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家、貸家、

分譲いずれも減少した。持家は2,505戸で前年同月比-6.8%と11カ月連続の減少。貸家は3,718戸で同-22.3%と3カ月連続の減少。分譲も2,888戸で同-25.5%と5カ月連続の減少であった。関西の新設住宅着工戸数は低迷が続いている。

全国は66,358戸で前年同月比-13.2%と大幅減少し、7カ月連続のマイナス。利用関係別にみると、持家は20,257戸で同+0.1%と8カ月ぶりの増加となった。一方、貸家は28,251戸で同-10.8%と、8カ月連続の減少。分譲も同-27.5%と2カ月連続で減少し、17,448戸となった。

また、関西2月のマンション契約率は84.9%(季節調整値:APIR推計)と前月比で+3.0%ポイントと、4カ月連続の上昇となった。また、21カ月連続で、好不調の目安となる70%を上回った。ファミリー層を中心にマンションの購入意欲が高まっており、好調な市況が続いている。

新設住宅着工戸数の推移(2010年1月~2018年1月)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

一方、同月の首都圏のマンション契約率は63.5%(季節調整値：APIR 推計)と前月比-4.7%ポイント下落し、2カ月連続で悪化した。また、2カ月連続で契約率は70%を下回った。

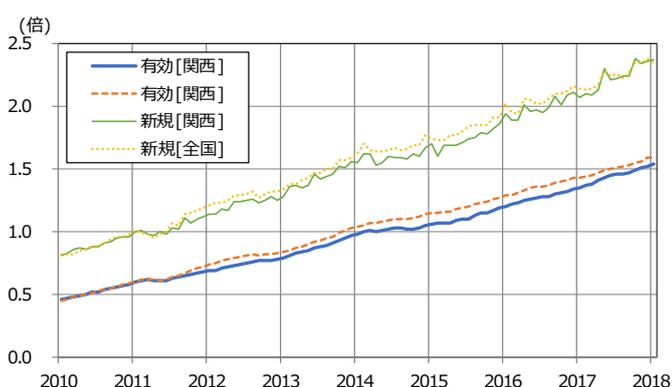
## 【雇用動向】

### (1) 求人倍率の動向

関西1月の有効求人倍率(季節調整値、受理地別)は、1.54倍で前月比+0.02ポイント小幅上昇し、5カ月連続の改善。内訳をみると、有効求人数が同+1.0%と増加する一方、有効求職者数が同-0.4%と小幅減少。労働需給は引き締まった状態が続いている。府県別では、大阪府が1.70倍で同+0.03ポイント、京都府が1.56倍で同+0.03ポイント、奈良県が1.40倍で同+0.06ポイント、和歌山県が1.34倍で同+0.02ポイントそれぞれ上昇。一方、兵庫県は1.36倍で同横ばい、滋賀県は1.36倍で同-0.01ポイント小幅下落した。

また、関西1月の新規求人倍率は、2.37倍で前月比+0.01ポイントと小幅上昇し、2カ月連続で改善した。今月は新規求人数が同-5.0%(4カ月ぶり)、新規求職者数も同-5.2%(3カ月ぶり)に減少したものの、依然として企業の採用意欲は強く、雇用情勢は堅調とみられる。

求人倍率(受理地別)の推移(2010年1月~2018年1月)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(下表も同様)

関西2府4県有効求人倍率(2017年12月-2018年1月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
12月	1.59	1.52	1.37	1.53	1.67	1.36	1.34	1.32
1月	1.59	1.54	1.36	1.56	1.70	1.36	1.40	1.34
前月差	0.00	0.02	▲0.01	0.03	0.03	0.00	0.06	0.02

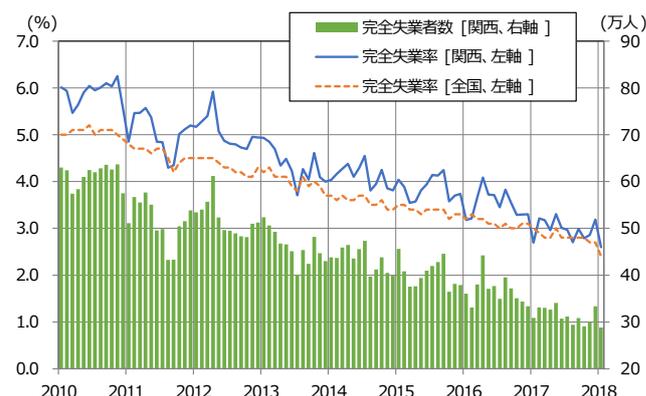
全国1月の有効求人倍率(季節調整値)は1.59倍と前月比横ばい。1974年1月(1.64倍)以来の高水準が続いている。また、新規求人倍率は2.34倍で同-0.04ポイント低下し、2カ月ぶりに悪化した。なお、今月から季節指数が変更されている。

### (2) 完全失業率の推移

関西1月の完全失業率(季節調整値：APIR 推計)は2.6%と前月比-0.6%ポイントと大幅に下落し、3カ月ぶりに改善した。完全失業者数(季節調整値：APIR 推計)は28.8万人で前月から-4.5万人とこちらも3カ月ぶりに減少した。内訳をみると、労働力人口と就業者数の増加がみられ、雇用環境は引き続き堅調であると考えられる。なお、今月から季節指数を変更した。

全国1月の完全失業率(季節調整値)は2.4%と、前月比-0.3%ポイント低下し、2カ月ぶりの改善となり、引き続き低水準である。完全失業者数(季節調整値)は160万人で前月から-23万人減少した。理由別にみると、「非自発的な離職」は同-12万人減少、「自発的な離職(自己都合)」が同-10万人減少、「新たに求職」は同-15万人であった。なお、今月から季節指数が変更されている。

完全失業率の推移(2010年1月~2018年1月)



(出所) 総務省「労働力調査」

## 【公共投資】

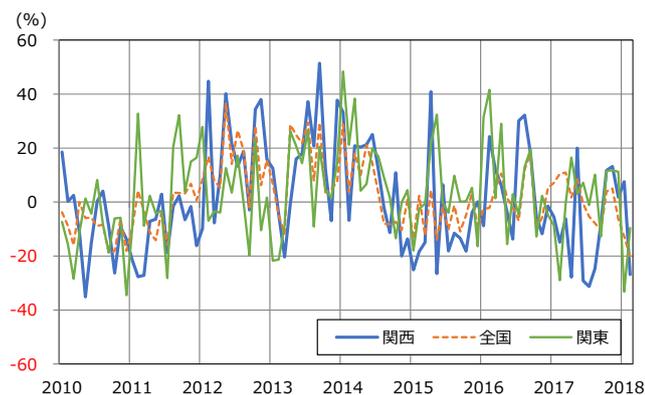
### (1) 公共工事請負金額

関西2月の公共工事請負金額は498億円で前年同月比

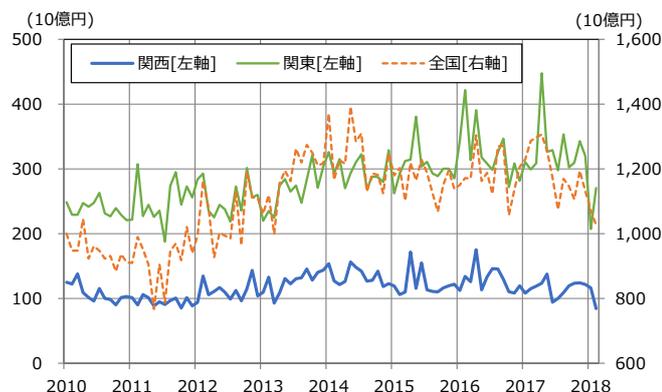
-26.9%と5カ月ぶりに減少した。全国は6,139億円で同-20.2%と3カ月連続の減少。関東は1,576億円で同-9.6%と2カ月連続の減少であった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は前月比-27.6%と大幅減少し、3カ月連続のマイナス。全国は同-4.3%とこちらも3カ月連続の減少であった。

公共工事請負金額(伸び率)の推移(2010年1月~2018年2月)



公共工事請負金額(季調値)の推移(2010年1月~2018年2月)



(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

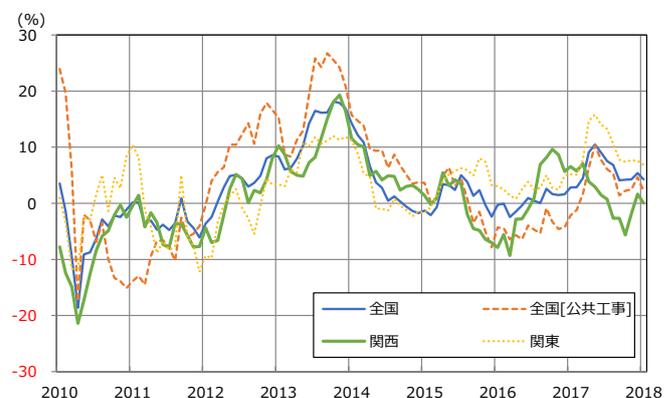
## (2) 建設工事

関西1月の建設工事出来高は5,899億円となり、前年同月比+0.0%と、2カ月連続の増加。関東は1兆7,711億円で、同+6.9%と、2015年3月以来、35カ月連続で増加が続いている。関東ではオリンピック・パラリンピックの影響もあり、2018年に入っても増加が続いている。それに対して、関西の伸びはまほま横ばいにとどまった。

全国1月の建設工事出来高は4兆9,292億円となり、前年同月比+4.3%と、2016年6月以来、20カ月連続で増加

した。うち、公共工事は2兆948億円で同+2.2%と11カ月連続で増加が続いているが、伸びは前月(同+4.6%)から減速した。

建設工事出来高の推移(2010年1月~2018年1月)



(注) 2016年4月分より新推計に基づく出来高の参考値を反映。

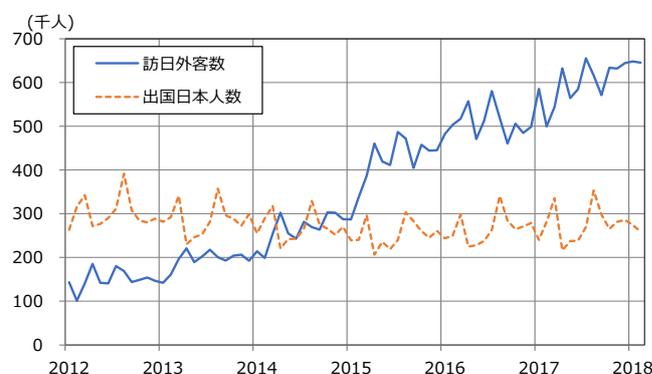
(出所)国土交通省「建設総統計」

## 【関空モニター】

### (1) 訪日外客数トレンド

2月の関空への訪日外客数は64万5,330人となり、前年同月比+29.2%と12カ月連続で増加した。また、11カ月連続で2桁増加が続いている。出外国人数は67万7,940人と同+23.6%増加した。結果、外国人旅客総数(出入国合計)は132万3,270人と同+26.2%増加した。一方、出国日本人数は25万9,070人で、同-7.9%と10カ月ぶりに減少した。出国日本人数は減少したものの、依然として訪日外客数は増加が続いており、好調である。

訪日外客数と出国日本人数の推移(2012年1月~2018年2月)



(出所)一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

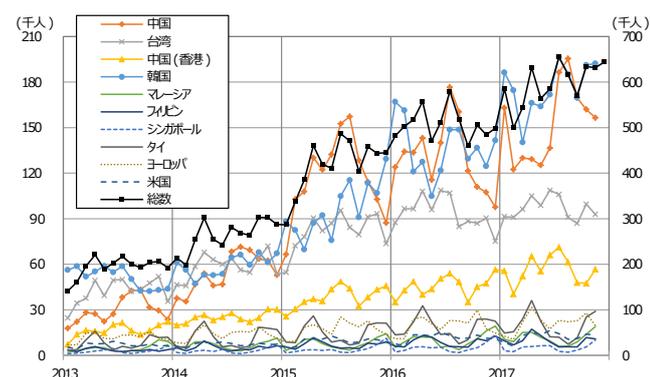
## (2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を国籍別・地域別にみると、12月は韓国からの入国者数が21万494人(前年同月比+48.7%)と4カ月連続で最多となり、伸びも10カ月連続で2桁増が続いている。次いで、中国(香港除く)が14万3,488人(同+47.1%)、台湾が7万9,440人(同+5.8%)、香港が6万630人(同+7.5%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが3万2,323人(前年同月比+43.0%)、マレーシアが2万301人(同+4.8%)、フィリピンが1万2,912人(同+1.1%)、シンガポールが1万7,307人(同+26.3%)であった。

他地域を見ると、ヨーロッパ全体では1万5,007人(前年同月比+2.4%)、米国が1万3,007人(同+21.8%)であった。

地域別訪日外客数(右軸：総数、左軸：各国、2017年12月まで)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

## 【中国景気モニター】

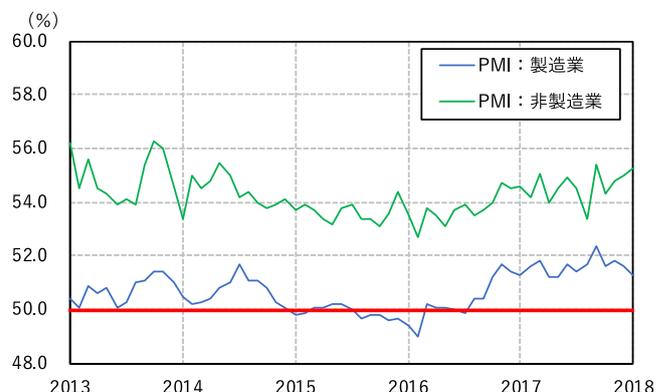
### (1) センチメント

2月の製造業の購買担当者景況指数(PMI)は50.3となり、前月から-1.0ポイント下落した。19カ月連続で景気分岐点を上回っているが、直近3カ月はお減速感がみられる。非製造業PMIは54.4となり、前月から-0.9ポイント下落し、4カ月ぶりの悪化。

製造業PMIのうち、生産指数は50.7となり、前月比-2.8ポイント下落し、3カ月連続の悪化。輸出新規受注指数は49.0となり、同-0.5ポイント下落し、2カ月連続の悪化。

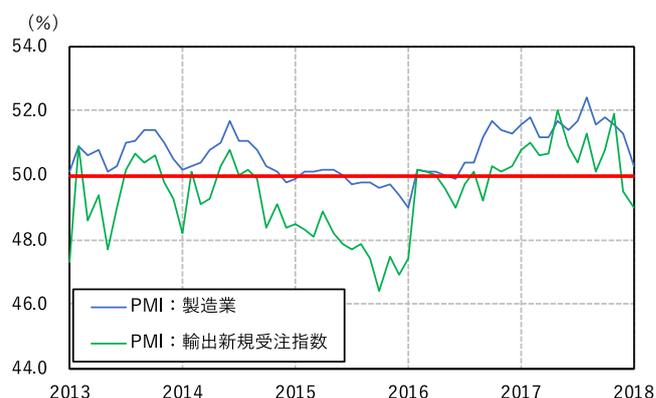
また、2カ月連続で景気分岐点(50)を下回った。雇用指数は48.1となり、同-0.2ポイント下落し、4カ月連続の悪化。

製造業・非製造業購買担当者景況指数(2013年2月～2018年2月)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

製造業購買担当者景況指数(2013年2月～2018年2月)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

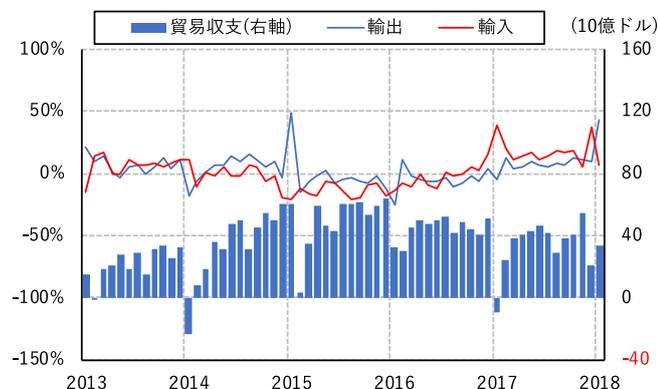
### (2) 貿易動向

2月の貿易収支は+337.4億ドルとなった。黒字幅は前年同月より+428.9億ドル拡大した。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,716.2億ドルとなり、前年同月比+42.9%と12カ月連続の増加。輸入額は1,378.8億ドルとなり、同+6.7%と16カ月連続で増加した。

また、対日貿易収支は-6.97億ドルとなり、13カ月連続の赤字となった。対日輸出額は103.7億ドルとなり、前年同月比+31.2%と12カ月連続の増加。対日輸入額は110.7億ドルとなり、同-10.5%と19カ月ぶりの減少である。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+25.1%増加し、2カ月

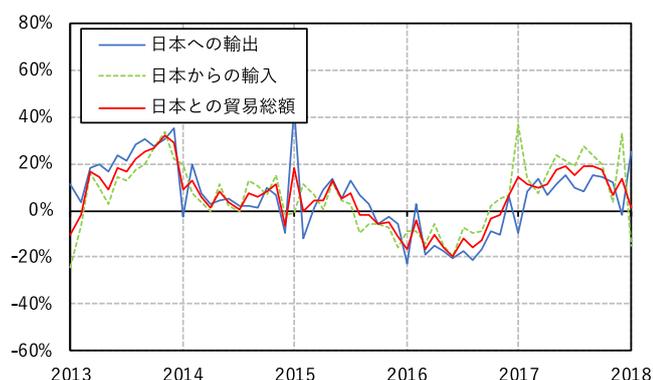
ぶりのプラス。また、対日輸入額は同-14.7%と、16カ月ぶりの減少である。

中国の貿易動向(ドル・ベース, 2013年2月~2018年2月)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易(円ベース, 2013年2月~2018年2月)



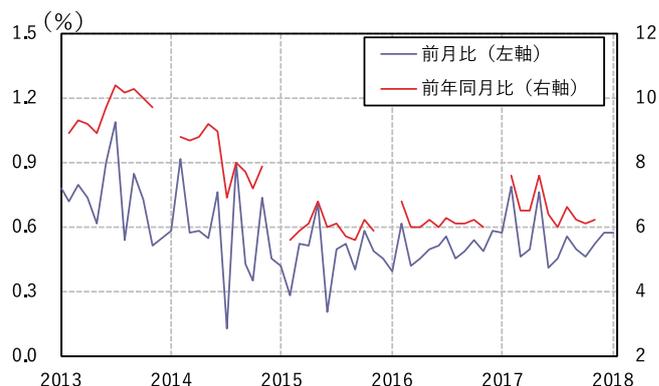
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

### (3) 工業生産

2018年1-2月平均の工業生産は2017年12月比+0.57%となり、伸びは+0.05%ポイント上昇した。

産業別に見ると、電力・熱力生産供給業(前年同月比+13.1%)、医薬製造業(前年同月比+12.3%)、パソコン・通信設備製造業(同+12.1%)などが高い伸びを示す一方で、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+1.7%)、化学原料・食品製造業(同+2.4%)、繊維工業(同+2.8%)などは、比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2013年2月~2018年2月)



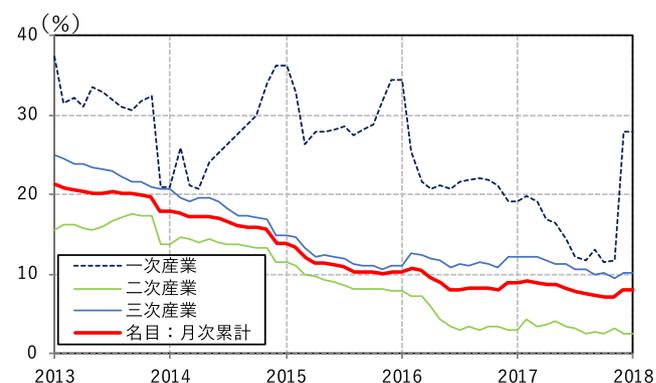
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (4) 固定資産投資

2018年1-2月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年比+7.9%となり、2017年12月(同+7.2%)より+0.7%ポイント上昇した。

産業別に見ると、第1次産業は12月から+16.0%ポイント上昇し、前年比+27.8%となった。第2次産業は-0.8%ポイント下落し、同+2.4%となった。第3次産業は+0.7%ポイント上昇し、同+10.2%となった。

固定資産投資(産業別)累積伸び率(2013年2月~2018年2月)

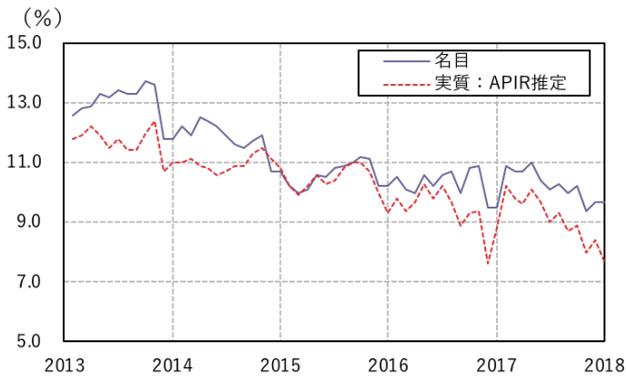


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (5) 消費

2018年1-2月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+9.7%となり、伸びは12月から+0.3%ポイント上昇した。また、社会消費品小売総額の実質値(APIR 推計値)をみると、1月と2月の伸びは、それぞれ+8.4%、+7.7%であった。

社会消費品小売総額(前年同月比,2013年2月~2018年2月)

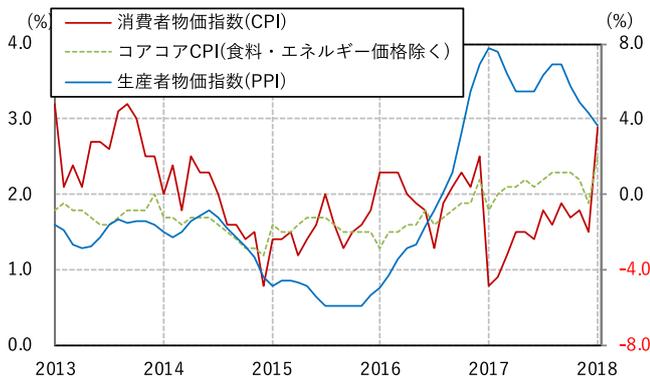


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (6) 物価水準

2月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+2.9%で、前月から+1.4%ポイント上昇し、2か月ぶりのプラス。また、生産者物価指数(PPI)は同+3.7%となり、前月より-0.6%ポイントと4か月連続で下落が続いている。

消費者物価指数・生産者物価指数(2013年2月~2018年2月)

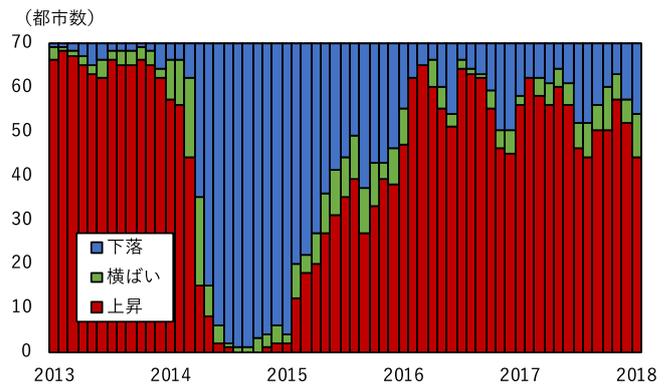


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (7) 不動産市場

2月の不動産市場は前月に引き続き軟調である。不動産価格(新築住宅価格)をみると、中国主要70都市のうち、上昇した都市数は44で前月から8都市減少した。一方、下落した都市数は16で前月から3都市増加した。また、横ばいの都市数は10で前月から5都市増加した。

新築住宅価格の主要都市集計(2013年2月~2018年2月)

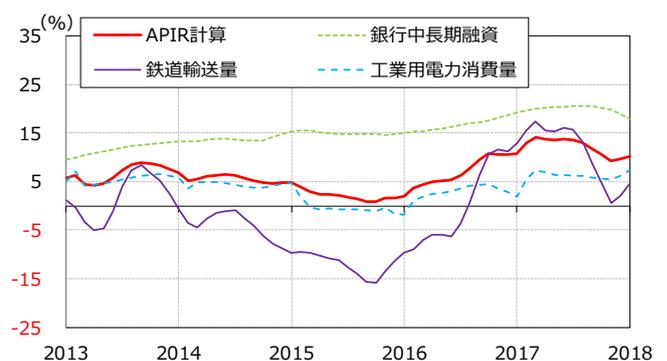


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (8) リコノミクス指数

2月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+10.3%と前月から+0.7%ポイント上昇し、2か月連続で加速した。内訳をみると、銀行中長期融資は同+18.0%となり、伸びは前月から-0.9%ポイント低下し、5か月連続で減速した。鉄道輸送量は同+4.4%となり、伸びは前月から+2.3%ポイント上昇し、2か月連続で加速した。工業用電力消費量は同+7.3%となり、伸びは前月から+1.1%ポイント上昇し、2か月連続で加速した。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2018年2月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet・馬騰

Tel. 06-6485-7694

E-mail. [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp)

【主要月次統計】

月次統計	17/1M	17/2M	17/3M	17/4M	17/5M	17/6M	17/7M	17/8M	17/9M	17/10M	17/11M	17/12M	18/1M	18/2M
景況感														
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	50.3	49.7	48.7	48.4	50.4	51.7	52.2	51.2	51.8	53.3	55.2	56.2	52.4	50.7
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	49.8	50.3	49.0	49.7	51.2	51.6	49.7	50.6	49.6	55.6	51.7	49.9	53.4	51.0
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	49.4	48.8	47.9	48.5	49.1	50.0	49.9	50.0	51.1	52.0	54.1	53.9	49.9	48.6
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	49.2	50.2	48.5	49.5	50.0	50.5	50.5	51.2	51.1	54.5	53.4	52.7	52.4	51.4
消費者心理・小売														
[関西]消費者態度指数(原数値)	42.2	41.7	43.1	43.1	43.0	43.2	43.2	43.2	43.1	43.6	43.8	43.4	44.4	43.2
[関西]「暮らし向き」(原数値)	41.4	40.2	41.4	41.2	42.0	41.3	41.0	41.0	41.7	41.7	41.9	40.9	42.2	40.6
[関西]「収入の増え方」(原数値)	40.5	39.7	41.0	41.4	42.4	41.6	41.2	41.8	41.8	41.8	41.9	41.0	42.7	41.8
[関西]「雇用環境」(原数値)	44.7	44.8	46.9	47.9	46.4	47.9	47.6	47.6	45.9	47.9	48.2	49.1	49.3	48.2
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	42.3	42.2	42.9	41.8	41.3	41.8	42.9	42.5	42.8	43.0	43.3	42.7	43.4	42.2
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	43.1	43.2	43.9	43.2	43.6	43.3	43.8	43.3	43.9	44.5	44.9	44.7	44.7	44.3
[関西]大型小売店販売額(10億円)	330.9	286.6	313.8	304.4	309.0	304.9	339.1	305.4	293.8	310.3	329.4	410.6	332.9	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.6	-1.2	-1.4	0.4	-0.5	0.3	-0.1	0.8	3.4	-0.2	1.7	1.0	0.6	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,674.3	1,449.3	1,631.2	1,558.3	1,585.1	1,569.4	1,717.9	1,565.5	1,496.8	1,588.9	1,671.3	2,092.1	1,682.8	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-1.0	-2.6	-0.9	0.8	-0.6	0.1	-0.2	0.7	1.8	-0.5	1.4	1.2	0.5	UN
住宅・建設														
[関西]新設住宅着工(戸数)	11,409	10,639	11,795	11,812	11,115	12,002	12,601	11,790	11,354	12,164	11,764	10,224	9,196	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	7.8	-4.0	-0.4	-9.5	4.1	-5.4	-3.3	1.8	-0.7	-1.5	-4.0	-7.7	-19.4	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	76,491	70,912	75,887	83,979	78,481	87,456	83,234	80,562	83,128	83,057	84,703	76,751	66,358	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	12.8	-2.6	0.2	1.9	-0.3	1.7	-2.3	-2.0	-2.9	-4.8	-0.4	-2.1	-13.2	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	78.8	75.4	73.0	77.6	76.5	77.6	71.7	78.2	76.6	75.6	76.9	78.6	81.9	UN
[関西]マンション契約率(原数値)	75.1	74.5	73.3	78.2	79.9	80.2	73.6	80.0	74.5	74.2	77.7	74.9	78.1	UN
[全国]マンション契約率(季節調整値)	64.4	66.8	64.6	66.6	78.4	65.2	66.4	68.6	66.8	65.7	68.1	74.0	68.1	UN
[全国]マンション契約率(原数値)	61.6	68.4	66.2	66.3	79.9	67.2	71.9	68.2	64.9	60.7	67.9	72.5	65.2	UN
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	60.9	68.1	118.1	201.8	147.3	122.4	120.3	102.7	139.4	129.9	85.4	97.5	65.4	49.8
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-5.4	-14.9	-6.2	-27.8	20.0	-29.2	-31.3	-24.7	-8.1	11.7	13.2	1.8	7.5	-26.9
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	699.7	769.3	1,485.9	2,064.6	1,242.1	1,518.5	1,288.8	1,149.4	1,319.1	1,171.2	863.3	797.3	610.1	613.9
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	7.1	10.4	10.9	1.7	8.5	-0.6	-5.4	-7.9	-10.4	3.9	5.0	-6.4	-12.8	-20.2
[関西]建設工事(総合、10億円)	589.8	583.1	557.2	470.9	465.1	483.7	500.3	516.6	536.8	547.9	586.5	608.9	589.9	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	6.6	5.7	7.1	3.9	2.9	1.5	0.8	-2.6	-2.7	-5.6	-1.8	1.6	0.0	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,727.3	4,636.8	4,607.2	3,902.3	3,903.1	4,095.9	4,241.2	4,471.7	4,689.1	4,902.6	4,970.9	5,054.8	4,929.2	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	2.8	2.9	4.5	9.1	10.5	9.0	7.5	6.8	4.1	4.2	4.3	5.4	-0.9	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2,049.1	2,008.4	2,036.8	1,450.6	1,428.6	1,505.1	1,568.4	1,711.7	1,876.0	2,043.9	2,085.1	2,164.5	2,094.8	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	-2.1	-1.2	1.7	6.4	10.3	7.7	6.1	5.3	1.4	2.2	2.5	4.6	2.2	UN
生産														
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	105.8	108.0	107.7	110.2	105.7	108.1	106.7	110.9	103.4	105.7	108.9	110.7	103.2	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-3.4	2.1	-0.3	2.3	-4.1	2.3	-1.3	3.9	-6.8	2.2	3.0	1.7	-6.8	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	3.7	4.2	0.9	4.6	3.8	5.4	2.3	6.2	-3.6	0.1	1.6	1.3	1.7	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-2.7	-2.6	-1.0	3.0	3.0	1.4	3.7	3.6	2.9	7.8	10.2	9.7	8.0	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	101.3	103.6	105.2	106.2	103.3	106.0	103.7	107.9	100.5	102.2	107.8	108.3	101.2	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-4.7	2.3	1.5	1.0	-2.7	2.6	-2.2	4.1	-6.9	1.7	5.5	0.5	-6.6	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	115.1	115.5	117.5	122.9	124.3	122.0	122.9	124.0	124.3	124.9	121.2	122.9	124.3	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	2.7	0.3	1.7	4.6	1.1	-1.9	0.7	0.9	0.2	0.5	-3.0	1.4	1.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.5	101.7	99.8	103.8	100.1	102.3	101.5	103.5	102.5	103.0	103.5	106.5	99.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.1	3.2	-1.9	4.0	-3.6	2.2	-0.8	2.0	-1.0	0.5	0.5	2.9	-6.8	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	4.2	3.7	3.5	4.9	5.4	5.3	4.1	5.8	1.5	2.7	2.3	4.2	2.0	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-5.0	-3.9	-4.0	-1.1	-1.3	-2.9	-2.3	-2.9	-2.4	2.0	3.0	2.1	1.4	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	97.8	99.2	98.4	101.1	98.2	100.7	100.0	101.8	99.3	98.9	101.2	104.1	98.2	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-1.1	1.4	-0.8	2.7	-2.9	2.5	-0.7	1.8	-2.5	-0.4	2.3	2.9	-5.7	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	107.4	108.1	109.7	111.3	111.3	109.1	107.9	107.3	107.3	110.7	109.8	109.5	108.9	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	0.1	0.7	1.5	1.5	0.0	-2.0	-1.1	-0.6	0.0	3.2	-0.8	-0.3	-0.5	UN
労働														
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.2	-0.1	0.6	0.4	0.7	1.9	0.2	1.4	2.1	1.4	1.3	1.7	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.1	-0.4	0.5	-0.1	0.6	1.6	0.3	1.6	2.2	1.6	1.4	1.9	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.3	0.4	0.0	0.5	0.6	0.4	-0.6	0.7	0.9	0.2	0.9	0.9	0.7	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	2.7	3.2	3.2	3.0	3.3	3.0	3.0	2.7	3.0	2.8	2.9	3.2	2.6	UN
[関西]完全失業率(原数値)	2.8	3.3	3.2	2.9	3.2	3.0	3.1	2.9	3.2	2.8	2.6	2.8	2.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.0	2.9	2.8	2.8	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	2.07	2.10	2.09	2.13	2.30	2.21	2.22	2.24	2.24	2.38	2.34	2.36	2.37	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.14	2.13	2.14	2.17	2.28	2.24	2.26	2.22	2.27	2.35	2.34	2.38	2.34	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.35	1.37	1.38	1.41	1.43	1.45	1.46	1.46	1.47	1.49	1.51	1.52	1.54	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.43	1.44	1.45	1.47	1.49	1.50	1.51	1.52	1.53	1.55	1.56	1.59	1.59	UN
国際貿易														
[関西]純輸出(10億円)	-196.0	356.1	222.3	174.7	94.2	172.4	135.1	161.9	249.8	160.1	162.8	256.1	-53.9	134.2
[関西]輸出(10億円)	1,090.9	1,353.6	1,476.5	1,335.5	1,239.5	1,383.9	1,329.4	1,382.4	1,482.4	1,425.3	1,520.4	1,589.4	1,303.4	1,353.3
[関西]輸出(前年同月比%)	-1.7	12.8	10.4	5.9	12.4	8.0	10.8	17.4	17.3	14.4	21.5	12.0	19.5	0.0
[関西]輸入(10億円)	1,286.9	997.5	1,254.2	1,160.8	1,145.2	1,211.5	1,194.3	1,220.5	1,232.6	1,265.2	1,357.6	1,333.4	1,357.3	1,219.1
[関西]輸入(前年同月比%)	9.8	-6.0	12.3	11.2	13.3	14.3	16.9	12.7	11.1	20.8	15.5	18.0	5.5	22.2

注：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く。

## Release Calendar for February/March

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
26-Feb 出入国管理統計(12月) 近畿鉱工業生産指数 (12月:確報)	27-Feb 全国貿易統計 (1月:確速)	28-Feb 中国製造業 PMI (2月) 商業動態調査 (1月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (1月:速報値) 新設住宅着工 (1月)	1-Mar 消費動向調査(2月)	2-Mar 求人倍率(1月) 完全失業率(1月)
5-Mar	6-Mar	7-Mar 中国輸出入 (2月:速報値)	8-Mar 景気ウォッチャー調査 (2月)	9-Mar 近畿貿易統計 (1月:確速) 近畿鉱工業生産指数 (1月:速報) 毎月勤労統計 (1月:速報値)
12-Mar	13-Mar 中国消費小売総額 (2月) 中国工業生産 (2月) 中国固定資産投資 (2月) 中国不動産市場 (2月)	14-Mar 商業動態調査 (1月:確報値)	15-Mar マンション契約率 (2月) 公共工事前払保証額 統計(2月)	16-Mar 建設総合統計(1月) 全国鉱工業生産指数 (1月:確報値)
19-Mar 全国貿易統計 (2月:速報) 近畿貿易統計 (2月:速報)	20-Mar 出入国者数(2月)	21-Mar	22-Mar	23-Mar
26-Mar 出入国管理統計(1月)	27-Mar 近畿鉱工業生産指数 (1月:確報)	28-Mar	29-Mar 全国貿易統計 (2月:確速) 商業動態調査 (2月:速報値)	30-Mar 新設住宅着工(2月) 全国鉱工業生産指数 (2月:速報値) 求人倍率(2月) 完全失業率(2月)